

取組事例

1 市町村の事例

(2) 子育て・青少年教育に関すること

事業名 早寝早起き朝ごはん推進事業

目的 早寝早起き朝ごはん運動を推進し、社会や地域全体で子どもの基本的な生活習慣の形成と家庭教育への啓発を図る。

実施主体 新潟市生涯学習センター

参加対象 地域住民、児童・生徒、保護者 **参加者数** 延べ914名

回数 26回 **日数** 27日 **時間** 102.5時間

場所 新潟市生涯学習センター、市内小・中学校、公民館、健康センターほか

内容

回	期日・時間	テーマ	講師等
1	6月～2月末 10:00～13:00頃	おはよう朝ごはん料理講習会	食生活改善推進委員
	内容・方法	<p>【内容】 地域コミュニティ協議会と協働で、「おはよう朝ごはん・うまかコンテスト」入賞作品をまとめた“早寝早起き朝ごはんレシピ集”を基本題材にした料理講習会を開催。 調理実習をして終わりではなく、「早寝早起き朝ごはん」の大切さを学ぶため、食育等に関するミニ講話を、調理指導とあわせて実施している。</p> <p>【対象】 地域住民、児童・生徒、保護者</p> <p>【実施数】 25コミュニティ協議会（12月末現在）</p> <p>【参加者数】 878人（子ども302名、大人576名）</p>	
2	期日・時間	テーマ	講師等
	10月8日（金）・9日（土） 15:30～17:00	お寺でゴーン！～6年生修行編～	ウキス興源寺住職 様
内容・方法	<p>【内容】 平成19年度～21年度までの3年間モデル事業として取組んできた経験を元に、入舟小学校地域教育コーディネーターを核として継続実施。地域を主体とし、生涯学習センター（中央公民館）は共催として活動を補助。 学校及び地域のお寺や銭湯などを活動場所とした、様々な体験学習を実施。</p> <p>【対象】 入舟小学校6年生</p> <p>【参加者数】 36名（子ども26名、大人10名）</p>		

成果 学校や地域と連携協力して、早寝早起き朝ごはん運動を推進する事業に取り組むことができた。特に地域の人材との関係づくりができた。
子どもたちの基本的な生活習慣の形成や、家庭教育への意識啓発のきっかけとなった。
平成19年度から実施しているため、地域の恒例行事として取り組んでくれるコミュニティ協議会が増えてきた。

課題 早寝早起き朝ごはん運動の推進を一過性の事業としてとらえるのではなく、地域全体で家庭教育を支援する視点に立って、継続的に取り組んでいく環境を構築できるかどうか今後の課題である。

問合せ先 新潟市生涯学習センター学習支援係 担当 皆川貴行 TEL：025-228-1000

事業
目的
実施主体
参加対象
回数
場所
内容

こうみんかんキッズフェスタ(直江津地区)

様々な体験活動を提供し、世代間交流を行うことで、青少年健全育成を図る。

上越市立公民館

小学生

参加者数 350名

1回

日数 1日

時間 3時間

上越市カルチャーセンター（直江津地区公民館）

回	期日・時間	テーマ	講師等
1	平成22年 8月3日（火） 午後1時～4時	体験活動を通じた、学習や遊び及び交流を行う。	地域ボランティア 公民館職員
内容・方法	<p>上越市カルチャーセンターを会場に、事前申し込み制の体験教室（牛乳パックでびっくり箱作り・小さなお花のアレンジ教室・はりえ教室）と、申し込みの必要のない遊びの広場（手作り輪投げで遊ぼう・お手玉・折り紙・メンコ・囲碁・将棋・オセロ・野菜のスタンプ遊び・卓球・割り箸鉄砲・館内ウオークラリー）を開催した。</p> <p>講師は普段カルチャーセンターを利用している方にお願ひし、ボランティアで子どもたちにさまざまな体験活動を提供していただいた。また、公民館職員も個々の得意分野を体験活動として提供した。</p> <p>スタッフ不足のため、地元の中学校へボランティアスタッフの協力を依頼し、5名の生徒が運営の補助を行った。</p>		

成果	<p>初めての開催であったが、猛暑の中、熱中症や怪我もなく、大勢の子どもたちに夏休みの楽しい思い出を作ってもらうことができた。</p> <p>地域の大人や中学生ボランティアに指導者になっていただき、子どもたちと触れ合い楽しむ中で、達成感、充実感を味わってもらった。また、人と人のつながりができ、公民館事業の推進のための、新たな地域ボランティアの力を養うことができた。</p>
課題	<p>地域ボランティアの募集、新たな指導者の開拓により、より充実した、魅力ある事業の実施を図りたい。</p>

問合せ先

上越市カルチャーセンター（直江津地区公民館）（電話025-543-7188）

事業名

まちづくりに向けた中学生ワークショップ
 まちづくりに向けた中学生シンポジウム

目的

中学生のまちづくり活動に向けた「主体」としての意識喚起。中学生の交流。

実施主体

上越市教育委員会・上越市地域青少年育成会議協議会

参加対象

市内の中学生

参加者数

下表のとおり

回数

下表のとおり

日数

下表のとおり

時間

下表のとおり

場所

下表のとおり

内容

※一連の流れがあるため、平成21年度事業も掲載

回	期日・時間	テーマ	講師等
1	平成21年2月20日(土) 14:00~17:15	広く中学校区の一般市民を元気にする「まちづくり事業(行事)」	市生涯学習推進課職員等
	内容・方法	●まちづくりに向けた中学生ワークショップ 冬 市内22の中学校から、2~3人の中学生を集め、グループをつくって、テーマにそって、ワークショップを展開。 この前段に、中郷中学校、牧中学校の生徒が、地元のお祭りに“参画”した事例を発表した。 参加者：中学生、地域青少年育成会議関係者、教育委員など122人が参加 場 所：上越市教育プラザ	
2	期日・時間	テーマ	講師等
	平成22年7月27日(火)10:30~ 28日(水)15:00	ふるさとの未来に向けたメッセージ	市創造行政研究所職員等
3	期日・時間	テーマ	講師等
	平成22年11月20日(土) 13:30~15:45	まちづくり活動に参画した事例	なし
内容・方法	●まちづくりに向けた中学生シンポジウム 市内22の中学校から、2~3人の中学生が参加 今年度、地元の祭りやイベントなど、まちづくり活動に「参画」した中学校の事例を発表し、意見交換を行った。 参加者：中学生、地域青少年育成会議関係者、学校関係者など100人が参加 場 所：リージョンプラザ上越		

成果

中学校、中学生の交流が進んだ。
 地元のまちづくり活動に「参画」して活動した中学校が増えた。

課題

中学生のさらなる意識の向上、中学生の想いを受け止める地域の体制整備 など

問合せ先

上越市教育委員会 生涯学習推進課 社会教育係 (担当：沢田)
 〒942-8563 上越市大字下門前 593 番地 TEL：025-545-9268 (内線 1230)
 FAX：025-545-9273 sawada.s@city.joetsu.lg.jp

事業名 加治川小学校区「弁当の日」を切り口にした連携事業

目的 加治川小学校で弁当の日の取り組みを始めるにあたり、食を通じて、地域の食材を知り、家族や地域の絆を取り戻し家族との団らんや地域との絆を深める。

実施主体 加治川地区食育推進会議・新発田市・新発田市教育委員会

内容

回	期日・時間	テーマ	講師等	
1	6月26日(土) 9:00 ~13:00	親子で作る弁当教室①	職員 食生活改善推進委員	
	内容・方法	<p>【内容】 リーフレタス収穫体験・生産者からの講話 収穫した食材を使った簡単弁当づくり・試食 講話（保健師による加治川地区の健康の様子について）</p> <p>【対象】 加治川小学校4～6年生児童とその保護者</p> <p>【参加数】 17名</p> <p>【場所】 加治川小学校等</p>		
2	7月31日(土) 9:00 ~13:00	親子で作る弁当教室②	職員 食生活改善推進委員	
	内容・方法	<p>【内容】 アスパラガス収穫体験・生産者からの講話 収穫した食材を使った簡単弁当づくり・試食 講話（食育推進室職員によるもったいない運動について）</p> <p>【対象】 加治川小学校4～6年生児童とその保護者</p> <p>【参加数】 7名</p> <p>【場所】 加治川保健センター等</p>		
3	期日・時間	テーマ		
	毎月1日	～食の循環によるまちづくり～ 満点 ☆加治川レストラン		
	内容・方法	<p>【内容】 各月とも、家庭・地域で食について、知識を身に付けてもらえるように、レシピやクイズ活動内容を掲載する。</p> <p>【掲載スペース】 A3サイズの3分の1</p> <p>【加治川地区公民館ガイドについて】 毎月1回、月初めに発行。加治川地区全世帯に配布。A3サイズで1枚（裏、表）。</p>		
		月	内容	担当課
		6月	旬の食材・アスパラガス	加治川地区公民館
		7月	家庭できる簡単な野菜栽培法	農林水産課(生産者)
		8月	親子でつくる弁当教室取組	食育推進室
		9月	郷土料理	食まち推進室
		10月	郷土料理	食まち推進室
		11月	旬の食材	農林水産課
12月		加治川小学校弁当の日の取組紹介	食育推進室	
1月	健康と食	健康推進課		
2月	学校給食のメニュー給食週間の取組	食育推進室		
3月	もったいない・エコクッキング	環境衛生課		

成 果

参加者自身で農産物を収穫し、それを使ってお弁当をつくることで、食への興味関心を育て、食の大切さを知ることができた。

学校や地域と連携して、食について取り組むことができた。特に地域の人材との関係づくりができた。

学校・家庭・地域の連携による食育推進を展開するため、食育推進会議を発足することが出来た。

加治川地区公民館ガイドに、加治川地区の食に関する情報などを掲載し、加治川地区の家庭・地域へ食育の普及啓発を図ることができた。

課 題

学校、家庭、地域、庁内各課との連携を図り、子どもたちの心身ともに健全な成長に寄与するため、今年度以上に魅力的な事業や食に関する事業を充実させる必要がある。食を通して児童・生徒の「生きる力」を育むことができればと考える。

問合せ先

新発田市加治川地区公民館（担当：宮村 綾子） TEL：0254-33-2433

事業名

『小千谷の自然、その宝物をさぐる』夏休み親子自然教室

目的

小千谷のおいたちと自然を親子で学習し、理解を深める。

実施主体

小千谷市生涯学習スポーツ課

参加対象

小学校3～6年生の児童と保護者

参加者数

延べ74名

回数

2回

日数

2日

時間

8時間

場所

信濃川河原・山本山・市民学習センター「楽集館」

内容

回	期日・時間	テーマ	講師等
1	8月7日(土) 13:00～16:00	信濃川石ころ探検隊 ～かわらのおもしろい石をあつめよう～	大矢 忠雄 様 新保 暢一 様
	内容 ・ 方法	マイクロバスで移動しながら、信濃川中流域(2箇所)の河原の石を採集してそれぞれの石の違いを観察したり、露頭の地層を観察して小千谷の大地の成り立ちを親子で学習した。 ・観察場所 小千谷市上片貝地内の信濃川河原(信濃川と魚野川の合流地点下流) 小千谷市川井地内の信濃川河原(信濃川と魚野川の合流地点上流) 山本山市道脇の露頭	
2	8月8日(日) 8:30～14:30	信濃川虫とり探検隊 ～五辺の水辺の昆虫採集と標本づくり～	今井 隆夫 様 新保 暢一 様
	内容 ・ 方法	信濃川「五辺の水辺」での昆虫採集と同定、採集した昆虫の標本づくりを親子で学習した。 ・採集場所 小千谷市五辺地内の信濃川河原「五辺の水辺」 8:30～ ・標本づくり 市民学習センター「楽集館」13:00～	
3	7月24日(土)～ 8月30日(月)	小千谷の自然、その宝物をさぐる	企画展示(新保暢一様)
	内容 ・ 方法	夏休み子供向け学習企画「親子自然教室」と合わせて「小千谷のおいたち」「小千谷の自然」のパネル展示、昆虫標本展示、化石の展示を市民学習センター「楽集館」で実施した。 ・入場者数 478名	

成果

地域の自然を学ぶ機会として大勢の親子が参加し、改めて地域を学習することができた。

課題

河原の石ころ採集では講師の話が専門的となり、小学生には理解しにくかった。

問合せ先

小千谷市生涯学習スポーツ課生涯学習係(担当:吉田光善) TEL:0258-83-0077

事業名

おやじの背中PROJECT「トンチンカンチン大工さん」

目的

普段使うことの少ないのこぎりやかなづちを親子で使用し、物を制作することで感性や発想を育む場を提供するとともに、建設現場から排出され、処分される廃棄木材を活用することにより、自然環境について考えるきっかけづくりを行う。

実施主体

見附市北谷公民館

参加対象

一般 親子対象

参加者数

延べ112名

回数

4回

日数

4日

時間

総合計8時間

場所

北谷公民館 ロビー

内容

回	期日・時間	テーマ	講師等
1 2 3	8月21日(土) 9月12日(日) 10月17日(日) 11月13日(土) 9:30~ 11:30	親子での日曜大工	なし
4	内容・方法	建設現場から排出された様々な木材を用意し、親子・個人でオリジナル工作を行う。釘・のこぎり・かなづちを数本用意したが、それ以外の必要な道具は各自で用意をしていただいた。	

成果

のこぎりをはじめ使う子ども達もいたが、親からアドバイスをもらい怪我なく、上手に使用することができた。なにより、子ども達にとっていい経験・体験になった。捨てる廃材を使つての事業だったので、環境問題への意識も高められ、ある材料で物を製作するアイデア・感性が向上した。

課題

後片付けに時間がかかってしまう。ある程度の広さが必要、開催場所の検討が重要

問合せ先

見附市北谷公民館 (担当: 野本博也) TEL 0258-63-2346

事業名

にこにこ親子の体験講座(ゆりかごコース)

目的リトミック、読み聞かせ、ベビーマッサージを通して親子のスキンシップを図る。**実施主体**

村上市村上事務所教育課

参加対象

生後4ヵ月～1歳未満児と親

参加者数

延べ30名

回数

2回

日数

2日

時間

2時間

場所

村上市民ふれあいセンター

内容

回	期日・時間	テーマ	講師等
1	6月22日	親子のスキンシップ 「あ・そ・ぼ」	保育士
	内容・方法	○ 幼児期のふれあいとして大切な時期を親としてわずかな時間を持てるふれあい遊びの紹介(手遊び、絵本の読み聞かせ、折紙を使ったものづくり)。	
2	期日・時間	テーマ	講師等
	6月29日	ベビーマッサージ 「子どもの肌にどんどん触れて育てよう！」	マッサージ師
内容・方法	○ オイルを使わず、毎日できるマッサージの方法。 ○ 子どもが風邪のときどう対処するかを学ぶ。		

成果

各講師が子育ての参考になるようにと講座以外の資料も作成し参加者へ配布したことで、今後の子どもとのスキンシップを図る上で、より役立てることができたと思う。

課題

次年度から市全体事業としての位置づけとなり、各地区からの参加者を受け入れるために事業の告知の徹底を図る。

事業の実施だけでなく、参加者同士がふれあいの持てる時間を設定して親同士の交流を図る。

問合せ先

村上市村上事務所教育課 TEL：0254-53-2446

事業名

にこにこ親子の体験講座(すくすくコース)

目的

子を持つ親が子育てに関する学習時間の合間に子どもから離れリフレッシュをしてもらう。親のリフレッシュ。

実施主体

村上市村上事務所教育課

参加対象

1歳～1歳就園児の親

参加者数

延べ50名

回数

3回

日数

3日

時間

3時間30分

場所

村上市民ふれあいセンター

内容

回	期日・時間	テーマ	講師等
1	6月30日	イライラしない子育ての秘訣 ～ママの心と体のセルフメンテナンス～	生涯学習開発認定コーチ 水科 江利子 様
	内容・方法	○ 子育てで疲れた心と体を癒す、ストレッチを学ぶ。	
2	期日・時間	テーマ	講師等
	7月14日	子どもの「健康」について学ぼう！	村上保健医療課保健師
内容・方法	○ 乳幼児の夏の水分補給について学ぶ。		
3	期日・時間	テーマ	講師等
	7月21日	子どもの「歯」について学ぼう！	歯科衛生士
内容・方法	○ 乳歯、虫歯、歯の磨き方について学ぶ。		

成果

託児ルームを設けたため、親が落ち着いて講座に参加できた。

課題

次年度から市全体事業としての位置づけとなり、各地区からの参加者を受け入れるために事業の告知の徹底を図る。
参加者のほとんどが女性であり、男女共同の視点から育メンにも多く参加してもらえる講座方法や告知を検討する。

問合せ先

村上市村上事務所教育課 TEL：0254-53-2446

事業名

子育て学習

目的

核家族化や少子化、地域や地縁的なつながりの希薄化などを背景として、子どもへの親の接し方が問題となっており、講演会を通して親の在り方などを指導・啓発する。

実施主体

糸魚川市教育委員会

参加対象

幼児～中学生の保護者（企画によっては親子）

参加者数

延べ1,453人（H21実績）

回数

21回

日数

21日

時間

26時間

場所

市内各小中学校・市民会館・美山公園など

内容

回	期日・時間	テーマ	講師等
1	5月16日（日） 13:30～16:00	思春期の子どもの心理について	NPO法人 えちご若者元気塾
	内容・方法	<ul style="list-style-type: none"> ひきこもりやニートなどへの保護者の対応についての講演と個々の相談への回答。 青海総合福祉会館ふれあいを会場に、子どもの問題を考える親の会が企画・開催。 	
2	8月29日（日） 10:00～15:00	パパと過ごす夏休み講座（父親の家庭教育参加啓発）	<ul style="list-style-type: none"> 蒲原 雅夫 様 茨木 洋介 様 横澤富士子 様
	内容・方法	夏休みを利用した親子参加企画 ① カンタン一斗缶くんせい作り 一斗缶を使ったくんせい作りの指導 ② 親子で学習ジオパーク 学芸員から教わる糸魚川ジオパークの学習 ③ お父さんのための家庭教育講座 教育カウンセラーによる家庭における父親の役割講座	
3	11月23日（祝） 13:30～15:00	心のふるさと子守唄講演会「昔話と子守唄」 ～親子の絆・命の大切さ～	<ul style="list-style-type: none"> 西舘 好子 様 常田富士男 様 川口 京子 様
	内容・方法	<ul style="list-style-type: none"> 日本の昔話の朗読や、子守唄のコンサートを通して親子の絆や命の大切を伝えた。 糸魚川市民会館を会場に、こども課・糸魚川市保育園保護者連絡協議会と共催。 	

成果

小学校では就学時健康診断のときにあわせて講演会を開催。その学区の保護者に効率よく指導・啓発している。学区だけでなく、上記のような全市的なものも交え、また共催団体を作ることで、参加者をより多く集められた。

課題

しつけや生活リズムといったものが根本的にどうして必要なのかという話をしてもらっているが、保護者がどの程度理解できたかなどの効果が見えにくい。

問合せ先

糸魚川市教育委員会生涯学習課（担当：古平真由美） TEL：025-552-1511

事業名

中学生広島平和記念式典派遣事業(青少年事業)

目的

平和に対する関心を高める。

実施主体

魚沼市教育委員会

参加対象

市内中学校代表生徒

参加者数

6名

回数

年1回

日数

3日

場所

広島県広島市等

内容

市内中学校代表生徒を毎年8月6日に広島で実施される平和祈念式典に派遣し、参加する。

回	期日・時間	テーマ	講師等
1	6月26日 9:30~11:30	広島平和記念式典派遣事業 第1回事前学習会	生涯学習室社会教育班 内田 昌登
	内容・方法	<ul style="list-style-type: none"> 派遣生徒の初顔合わせでもあるので、アイスブレイキング(他已紹介) 事業の趣旨、行程の説明 DVD鑑賞 事前学習課題の説明 	
2	7月24日 9:30~11:30	広島平和記念式典派遣事業 第2回事前学習会	生涯学習室社会教育班 内田 昌登
	内容・方法	<ul style="list-style-type: none"> 事前学習課題の発表 祈念式典実施要綱の説明及び灯ろう作成 その他注意事項や連絡 	
3	8月5日 16:00~17:00	被爆者体験講話「子どもたちが笑顔で過ごせる世界に」	広島平和記念資料館 岡田 恵美子 様
	内容・方法	<p>宿泊ホテルの会議室を貸し切り、平和記念資料館より派遣された講師より被爆者体験講話を受けた。派遣の最初の行程となるが、被爆者体験講話を直接聞くことにより、派遣中学生の意識が高まり、この後の行程でもある、平和記念式典への参加や平和記念資料館の見学等へも非常に大きな影響があるように思える。</p>	

成果

参加した中学生からは派遣事業終了後、感想文を提出してもらった。感想文については市報により周知し、市民からも平和に対する意識を高めてもらった。

課題

事業開始初年度のため、要所に懸案事項はあるが、8/6(記念式典)当日の行程の中で当初予定していたよりも、かなり時間的に無理な部分があった。来年度以降は行程内の細かい部分の修正・検討が必要だと思われる。

問合せ先

魚沼市教育委員会 生涯学習室(担当:内田昌登) TEL:025-794-6073

事業名

のびのび通学合宿

目的

子どもたちが親元を離れ、集団生活で、“生きる力”、“家族のありがたみ”や“やりとげる自信”を身につけるとともに、新しい友達づくりや協調性、自立性を育む。

実施主体

南魚沼市教育委員会 社会教育課

参加対象

市内小学校6年生

参加者数

22名

回数

2回(13名、9名)

日数

1回4泊5日

場所

南魚沼市塩沢セミナーハウス

内容

日曜日から木曜日まで(4泊5日)、自宅を離れ開催施設で他校の参加者と寝食を共にし、家事、共同作業を当番で行いながら学校に通学し、集団生活を体験する。

回	期日・時間	テーマ	講師等
1	6月6日～ 6月10日	子どもたち自らの力で行う共同作業、集団生活。	
	内容・方法	1日目……15:30開校式 17:00点呼、当番講習 18:00掃除・風呂・食事当番実施 19:00夕食、風呂、勉強、レクリエーション 21:30点呼 22:00就寝 2～4日目…6:00起床・点呼・朝食、ごみ拾いボランティア 7:00集団登校 17:00集団下校 18:00点呼、各当番実施 19:00夕食、風呂、勉強、レクリエーション 21:30点呼 22:00就寝 最終日……6:00起床・点呼・朝食 7:00集団登校 17:00集団下校、荷物・部屋片付け 18:00 修了式 18:45解散	
2	期日・時間	テーマ	講師等
	6月20日～ 6月24日	同上	
内容・方法	同上		

成果

合宿を通して、親の有難みや家族への思い、他人との関わりrosの大切さを感じた良い機会になったのではないかと。家庭では中々出来ない「炊事・洗濯・掃除」、「早寝・早起き・朝ごはん」を実践し、「テレビ・ゲーム機・パソコン」のない規則正しい生活を体験し、やり遂げられたことへの自信に繋がっている。合宿を終えての感想では一様に「楽しかった、また参加したい、親の手伝いをする、スタッフの皆さんありがとう」等の声が多く聞かれ、大変有意義な合宿であった。

課題

参加した児童、保護者からは高い評価を受けているが、1回の参加募集人数24名に対し参加者が少なかった。開催時期、募集方法について一考が必要である。

問合せ先

南魚沼市教育委員会 社会教育課生涯学習班 (担当: 山田)
 〒949-6623 南魚沼市六日町865 Tel.025-773-6610

事業名

お正月公民館まつり

目的

餅つきや、お正月ならではの昔なつかしい遊びを、大人も子どもも一緒に楽しんでもらう。

実施主体

主催；聖籠町公民館 共催；聖籠町婦人団体連絡協議会／聖籠町青少年健全育成町民会議

参加対象

幼児から大人まで

参加者数

およそ160名

回数

1回（毎年）

日数

1日

時間

5時間

場所

聖籠町町民会館

内容

回	期日・時間	テーマ	講師等
1	1月9日（日） 9：00～14：00	家庭や地域でふれる機会の少なくなった餅つきや、お正月ならではの昔なつかしい遊びを、大人も子どもも一緒に楽しんでもらう。	なし
	内容・方法	<ul style="list-style-type: none"> 町民会館プロムナードに長屋を組み立て、昔の街並みを再現し、カルメ焼きづくり・お手玉づくりを体験、お菓子屋台で駄菓子を販売。 お正月の遊び（はねつき・コマまわしなど）中心に、大人と子どもが一緒に楽しむ。 大人の指導のもと、竹とんぼ・お手玉・凧を作る。 	

成果

子どもと年配者の交流。子ども達にふれる機会の少なくなった餅つきや昔なつかしい遊びを体験してもらえた。

課題

たこや竹トンボを指導できる町内の年配者の確保。

問合せ先

聖籠町教育委員会社会教育課（担当：石田守之）TEL：0254-27-2121

事業名 家庭教育講座 {子育てをもっと気楽に わたしへのごほうび講座}

目的 社会問題頻発の昨今、子育てを負担にせず、前向きに楽しんでもらいたい。
参加者で仲間作りをして、いざという時の話相手も作ってほしい。

実施主体 津南町教育委員会 生涯学習班

参加対象 幼児・児童のいる家族

参加者数 延べ50人

回数 3回

日数 3日

時間 4時間30分

場所 津南町文化センター

内容

回	期日・時間	テーマ	講師等
1	10月6日 (水) 17:30~19:00	聞こえますか?子どもの悲鳴 (今子どもたちの生きる家庭と社会)	津南小学校 校長 桑原 正 様
	内容・方法	電子紙芝居(先生曰く)を使ってセロトニンマンの話、今子どもたちの置かれている現実と家庭での地位など講話を聞き、受講者がグループに分かれ、我が家の現実、今日気付いた事、これから対応したい事などを話し合った。	
2	11月4日 (木) 17:30~21:00	みんなちがってあたりまえ	津南町青少年育成町民会 議 会長 渡邊 友司様
	内容・方法	ビデオ「子育ての悩みと喜び」鑑賞。その後ご自分の体験談を交えながら講話。「みんな違ってあたりまえ」 再度ビデオ鑑賞「ゆっくり、ゆったり」 詩の紹介等。	
3	11月30日 (火) 17:30~19:00	ほどほどに良い親であるために ～きくことを見直そう～	新潟県女性財団専門員 木村 いほ子 様
	内容・方法	沢山の体験談を交えながら黒板、事前配布してある用紙を使って書き込みをしながらの講話であった。講師、受講者双方向で会話があり、盛り上がりもよく時間が足りない感があった。子どもとの関わりで見る、観る、聞く、聴くことの大切さなどの話があった。	

成果 参加者からは、大変好評であった。父親、祖母の参加もあり家族講座となった。

課題 例年家庭教育講座の参加者が多くない。悩んでいそうな人の参加が少ない。

問合せ先 津南町教育委員会 生涯学習班 (担当: 大平裕子) (025-765-3134)

事業名	ネットいじめ対処法講演会		
目的	中学生とその保護者に対して、正しい携帯電話の使い方を身に付けさせる。		
実施主体	津南町青少年育成町民会議		
参加対象	中学生・大人(保護者)	参加者数	550名
回数	2回	日数	1日
場所	津南中学校体育館、津南町文化センター		
内容			

回	期日・時間	テーマ	講師等
1	12月20日(月) 15:30～17:00	ネットいじめ対処法(子ども向け)	講師：全国Webカウンセリング協議会 理事長 安川雅史 様
	内容・方法	便利で手軽な携帯電話だが、そこに潜む危険性を具体的な事例等をもとに安川様が説明した。	
2	12月20日(月) 19:00～21:00	ネットいじめ対処法(保護者等大人向け)	講師：全国Webカウンセリング協議会 理事長 安川雅史 様
	内容・方法	便利で手軽な携帯電話だが、そこに潜む危険性を具体的な事例等をもとに安川様が説明した。	

成果	中学生対象、大人対象とも子どもたちが巻き込まれた犯罪等の具体的な事例をリアルにしかも熱くお話いただき、聞いていた人たち(特に子どもたち)は熱心にメモしたりしながら聞き入っており、大変参考になったようであった。
課題	PTAとの連携が不十分だったので、夜の部の参加者が少なかったことが残念である。

問合せ先 津南町教育委員会 生涯学習班 (担当：小林義明) TEL：025-765-3134